

令和4年度

さいたま 知っ得 予算

SAITAMA SHITTOKU YOSAN

「知って得する」さいたま市の予算と財政状況



はじめに

冊子の作成に当たって

「さいたま知っ得予算」は、さいたま市の予算や財政に興味のない方でも「知って得する」内容を目指して作成しました。

皆様に納めていただいた税金がどのように使われているのか、さいたま市の財政状況はどうなっているのか、理解を深めていただければ幸いです。



目次

CONTENTS

予算編 「さいたま市のお金の使いみち」

- 予算って何？ _____ 1
- 予算はどうやって決めるの？ _____ 1
- 会計って何？ _____ 2
- 歳入と歳出の内訳は？ _____ 3
- 市民1人当たりの予算は？ _____ 6
- さいたま市の予算を家計に置き換えると？ _____ 7
- 今年度はどのような事業に取り組むの？ _____ 8

財政状況編 「さいたま市のフトコロ事情」

- 歳入の状況は？ _____ 11
- 歳出の状況は？ _____ 12
- 貯金はあるの？ _____ 13
- 借金はいくらあるの？ _____ 14
- さいたま市のフトコロ事情は安心？ _____ 15

特集 「新型コロナウイルス感染症関連予算」

- 令和4年度は、どんなコロナ対策事業を行うの？ _____ 16

Q 予算って何？

A さいたま市の1年間の収入（歳入）と支出（歳出）の見積もりです。

市民の皆様にご納めいただく税金は、国、県、市の収入となって、さまざまな行政サービスに使われています。

国や地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額をあらかじめ見積もって、事業の内容を計画します。この見積もりが「予算」です。

予算を見れば、この1年間、どのくらいのお金が入ってくると見込んでいて、何にいくら使う計画であるかがわかります。

なお、1年間の収入と支出の実績を「決算」といいます。

Q 予算はどうやって決めるの？

A 市長が予算案を作り、議会の審議を経て決まります。

4月1日から翌年の3月31日までの1年間に必要とされる予算は、「当初予算」として、年度が始まる直前の2月定例会（議会）で決まります。

年度の途中で状況の変化や緊急の事態が発生した場合、それに対応するため、当初予算に変更を加えるものが「補正予算」です。



▼ 当初予算編成の流れ

財政局
(9月頃)

翌年度の予算を作るための方針（予算編成方針）を定めます。

各部局
(10月頃)

市民の意見や地域の状況などを踏まえ、翌年度にどんな行政サービスを行うべきかを検討し、予算を見積もります。

市長
(1月頃)

各部局から出された案について、市全体での事業の緊急性や優先順位などを検討し、最終的な予算案をまとめます。

議会
(2月～3月頃)

議会に提出された予算案は、議会での審議・議決を経て、予算として決まります。

Q 会計って何？

A すべての予算をひとつの会計で扱うと、複雑でわかりにくくなります。そこで、基本的な経費を扱う「一般会計」のほか、それぞれの収入で事業を行う「特別会計」と「企業会計」に経理を分けています。



▼ 会計の種類と令和4年度当初予算額

全会計合計
1兆916億円
(前年度1兆557億円)



一般会計

6,373億円

(前年度6,118億円)

教育、福祉や道路・公園の整備など、市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税でまかなわれています。

特別会計(14会計)

3,237億円

(前年度3,189億円)

特定の収入を特定の支出にあてるため、一般会計と区別している事業の会計です。

- ・国民健康保険事業
- ・介護保険事業
- ・大宮駅西口都市改造事業 ほか

企業会計(3会計)

1,305億円

(前年度1,250億円)

民間企業と同じように、基本的には事業の収益でまかなわれている会計です。

- ・水道事業
- ・病院事業
- ・下水道事業



One Point !

新型コロナウイルス感染症への対応や防災・減災、国土強靱化の推進などについて、迅速かつ継続して実施するため、令和3年度12月補正予算から令和4年度当初予算までの16か月の切れ目のない予算として編成しています。

一般会計

【令和3年度】
12月補正予算
2月補正予算
386億円

+

【令和4年度】
当初予算
6,373億円

+

【令和4年度】
2月補正予算
15億円

=

【16か月予算】
6,774億円

Q

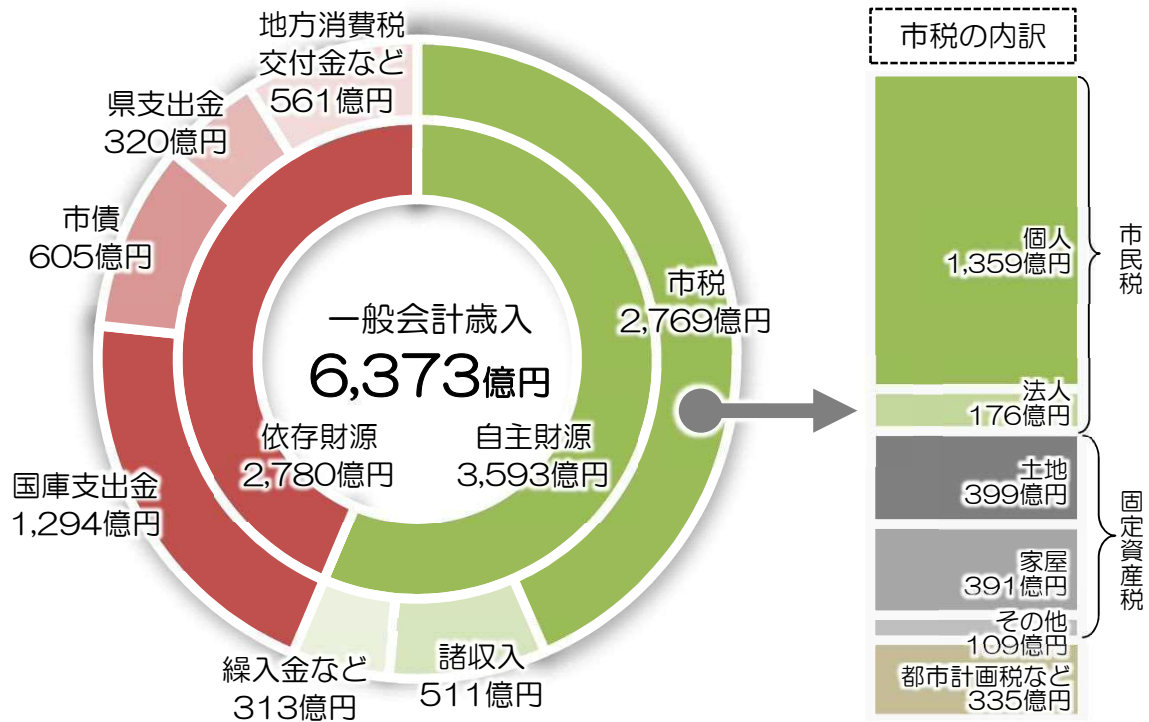
歳入と歳出の内訳は？

A

地方公共団体では、収入を「歳入」といい、支出を「歳出」といいます。今年度の一般会計の歳入と歳出を見てください。



令和4年度当初予算 歳入の内訳



※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

諸収入	他の収入に含まれない収入で、貸付金元利収入や宝くじの収入など
繰入金	基金を取り崩して得られたお金など
国庫支出金・県支出金	国・県が必要だと認めた事業に対して、国・県から交付されるお金
市債	市の施設を建てるなど時に借り入れるお金
地方消費税交付金	国に納めた消費税の一部が県を通して交付されるお金



One Point !

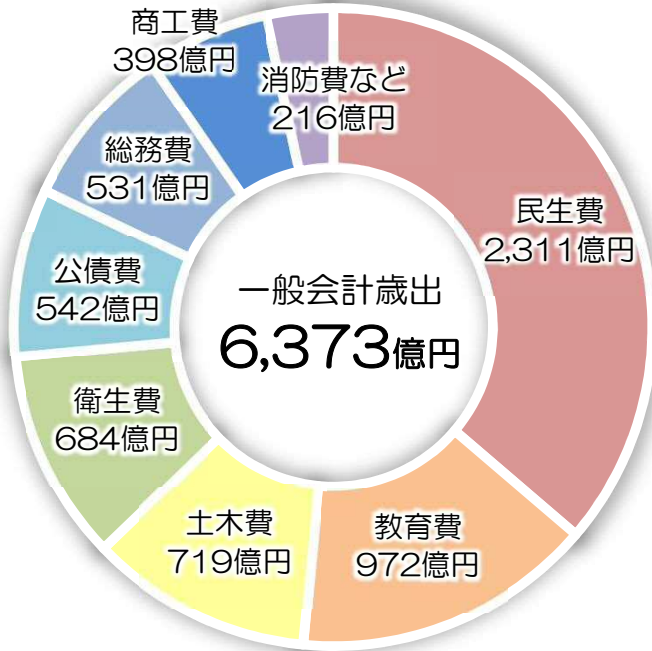
歳入には、市税のほか、国や県から交付されるお金や市で借り入れるお金（市債）など、さまざまなものがあります。これらは、市が国や県に依存しないで自主的に収入できるかどうかで、「自主財源」と「依存財源」に分けられます。

- 〔自主財源〕 市税、使用料、手数料など
- 〔依存財源〕 国庫支出金、県支出金、市債など

市民の皆様のさまざまなニーズに対応して事業を行っていくためには、自主財源の確保が重要です。自主財源の中で最も大きな割合を占めるのが市民の皆様の税金（市税）であり、その半分以上が個人と法人の皆様にご納めいただいた市民税です。



▼ 令和4年度当初予算 歳出（目的別）の内訳



今年度、さいたま市が取り組む主な事業については、8ページ以降に掲載しています。

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

民生費	障害者や高齢者の福祉、子育て支援などの経費
教育費	学校教育、生涯学習の充実などの経費
土木費	道路、河川、公園のような社会資本の整備などの経費
衛生費	健康増進、疾病予防、環境保全、ごみ処理などの経費
公債費	借りたお金（市債）の返済に掛かる経費
総務費	庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、選挙などの経費
商工費	商工業、農業、観光の振興などの経費
消防費	消防、火災予防などの経費



One Point !

歳出は、分類方法の違いによって「目的別歳出」と「性質別歳出」の2つの視点から見ることができます。

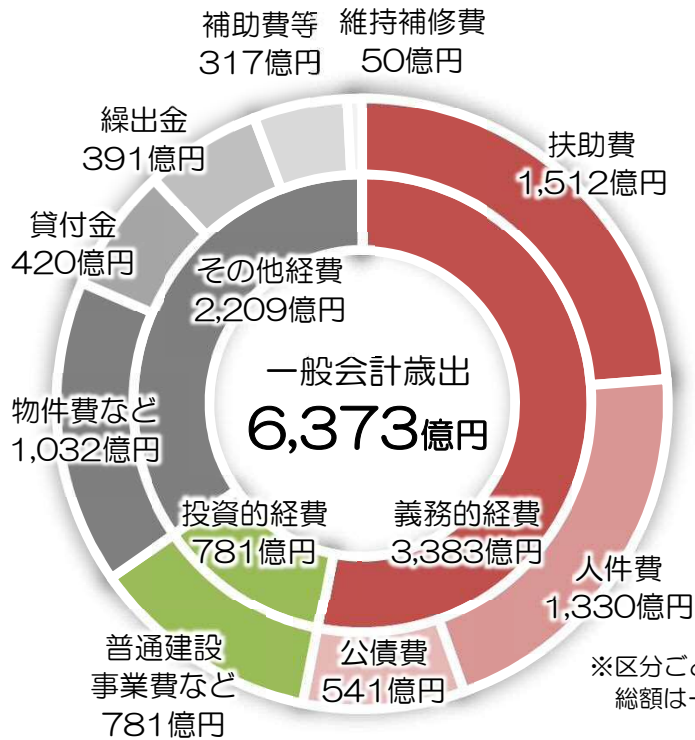
〔目的別歳出〕 福祉・子育て、教育など、経費の目的ごとに分類

〔性質別歳出〕 人件費、扶助費など、経費の性質ごとに分類

「教育費はどのくらい掛かっているんだろう？」というのは目的別歳出を、「人件費はどのくらい掛かっているんだろう？」というのは性質別歳出を見ればわかります。



令和4年度当初予算 歳出（性質別）の内訳



扶助費、人件費、公債費の3つの経費は、毎年度必ず支出する固定的な経費であるため、「義務的経費」といいます。

令和4年度当初予算では、義務的経費の占める割合は53.1%です。

また、道路、公園、学校のような社会資本の整備に掛かる普通建設事業費などの経費を「投資的経費」といいます。

令和4年度当初予算では、投資的経費の占める割合は12.3%です。

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

扶助費	生活保護、医療費の助成などに掛かる経費
人件費	職員の給料や退職手当などに掛かる経費
公債費	借りたお金（市債）の返済に掛かる経費
普通建設事業費	道路や公園、学校などを整備するための経費
物件費	光熱水費、消耗品費、施設の管理費などの経費
貸付金	中小企業資金融資などの貸付金
繰出金	一般会計から特別会計に支出する経費
補助費等	行政上の目的で市が交付する補助金などの経費
維持補修費	道路や公共用施設などを修繕するための経費



One Point !

市がお金を借りる理由を説明します。例えば、学校は完成してから何十年も使いますが、建てる年にまとめて支払いをしてしまうと、その年にいる市民だけが費用を負担することになります。そうすると、その後に引っ越してきた人や次の世代の人は費用を負担せずに学校を使うことができ、不公平になってしまいます。

そのため、長い間利用される施設を建てる時には、将来の市民にも費用を公平に負担してもらうためにお金を借りて、長い期間をかけて返済していくことにしています。

Q

市民1人当たりの予算は？

A

一般会計の当初予算額を市民1人当たりに換算すると、約47.8万円となります。目的別に分けて、その内訳を見てみましょう。

	総額	市民1人当たり
 きれいな街に ごみの処理、廃棄物処理施設の整備・維持管理 リサイクルの推進、地球温暖化対策 再生可能エネルギーの推進、環境美化の推進など	238 億円	1.8 万円
 保健・福祉・医療に 保健衛生、生活保護、障害者の支援 医療体制の充実、国民健康保険事業特別会計・ 病院事業会計への繰出しなど	1,370 億円	10.3 万円
 高齢者支援に 社会参加の推進、介護予防の推進 高齢者福祉施設の維持管理、介護保険事業特別会計・ 後期高齢者医療事業特別会計への繰出しなど	377 億円	2.8 万円
 子育て支援に 保育所の整備・運営、幼児教育の推進、障害児の支 援、青少年の育成、児童相談所の運営 ひとり親家庭等への自立支援など	1,011 億円	7.6 万円
 学校・教育に 学校教育の実施、学校施設の整備・維持管理 生涯学習の推進、文化財の保護 公民館・図書館・博物館の維持管理など	972 億円	7.3 万円
 地域活動・スポーツ・文化の振興に コミュニティ活動の推進、防犯・交通安全の啓発 スポーツ環境の整備、文化芸術活動の推進 市民会館の整備・維持管理など	105 億円	0.8 万円
 道路や公園整備などのまちづくりに 道路・河川・公園・市営住宅の整備・維持管理 下水道事業会計への繰出し 市街地再開発事業、土地区画整理事業など	719 億円	5.4 万円
 産業の振興に 地域経済の振興、中小企業・成長産業の支援 農業の振興、農業用施設の整備、就労者の支援など	420 億円	3.1 万円
 消防や火災予防に 消防活動の実施、警防体制の強化、火災予防の推進 救急活動の実施、消防施設の維持管理など	175 億円	1.3 万円
 市役所の運営・市債の返済に 議会の運営、人事の実施、予算・決算の調製 市税の徴収、市有財産の管理、防災計画の策定 情報公開の推進、選挙の実施、市債の返済など	986 億円	7.4 万円
合計	6,373 億円	47.8 万円

Q

さいたま市の予算を家計に置き換えると？

A

一般会計当初予算を家計に置き換えてみましょう。

大きな金額の予算を身近に感じていただくため、令和4年度の一般会計当初予算6,373億円を、給与所得者の平均給与である433.1万円※（月収361,000円）の家計に置き換えてみると、下の表のようになります。

家計では、食費・生活費や医療費・保育料、借金の返済に対する支出が増えると、貯金や家の増改築に回せるお金が減ってしまいます。

市でも同様に、人件費や扶助費、公債費に対する支出が多いと、積立金や建設事業に使えるお金が減ります。

そこで、さいたま市では、健全な財政を維持するため、民間活力の導入、事業の選択と集中、時間外勤務の抑制など、行財政改革に取り組んでいます。

※出典：令和2年分民間給与実態統計調査（国税庁）



▼ さいたま市の家計簿（1か月当たり）

 歳入		 歳出	
給料・諸手当 （市税、地方交付税 など）	281,000円	食費・生活費 （人件費）	75,000円
パート収入 （使用料・手数料 など）	36,000円	医療費・保育料 （扶助費）	86,000円
預貯金の取り崩しなど （繰入金）	10,000円	借金の返済 （公債費）	31,000円
銀行からの借入れ （市債）	34,000円	光熱水費、衣料費など （物件費 など）	73,000円
		子どもへの仕送り （繰出金）	22,000円
		車の維持費 （維持補修費）	3,000円
		預貯金など （貸付金、積立金 など）	27,000円
		家の増改築費 （普通建設事業費）	44,000円
合 計	361,000円	合 計	361,000円

Q

今年度はどのような事業に取り組むの？

A

これまでの20年間の歩みを糧とし、さらに個性や強みに磨きをかけ、都市としての成熟を深めるため、総合振興計画基本計画実施計画に掲げる重点戦略事業や各分野の事業等を着実に進め、新型コロナウイルス感染症の拡大による難局を乗り越え、さいたま市のシンカに取り組めます。大きな柱としては、次の4本の柱となります。

新型コロナウイルス感染症と自然災害への対策の強化

令和3年度に引き続き市民の生命及び健康を守るため、ワクチン接種体制を確保し、迅速かつ確実に予防接種を進めるとともに、自宅療養者に対する医療提供体制を強化するなど、感染症対策を着実に実施します。また、激甚化する自然災害への対策として、都市・生活インフラの耐震性の確保や、治水対策などを推進します。

【主な事業内容等】

- ・ワクチン接種体制の整備及び追加接種の実施〔151億6,019万円〕
- ・酸素濃縮装置の整備〔1,584万円〕
- ・治水対策施設の整備〔51億9,640万円〕
- ・市立中学校の体育館への空調機設置工事及び設計の実施〔5億6,912万円〕

ポストコロナを見据えたさいたま市らしさの深化

ポストコロナを見据え、時代の変化を的確に捉えながら、大宮駅・浦和駅周辺におけるまちづくりを進めるとともに、ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組むなど、本市の魅力にさらに磨きをかけ、さいたま市らしさを深化させます。

【主な事業内容等】

- ・大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進〔2億7,359万円〕
- ・E-KIZUNA Projectの推進〔1億4,127万円〕
- ・大和田地区における社会福祉施設等を含む複合型小学校の整備〔8億8,486万円〕
- ・地下鉄7号線の延伸〔1億5,186万円〕

誰一人取り残さない包括的な支援の充実

誰もが住みやすい地域社会の実現に向けて、「福祉まるごと相談窓口」や、「子ども家庭総合支援拠点」を10区全てに開設し、包括的な相談体制を強化するなど、SDGsの理念を基に、誰一人取り残さない包括的な支援の充実を図っていきます。

【主な事業内容等】

- ・福祉まるごと相談窓口の全区設置〔1億302万円〕
- ・子ども家庭総合支援拠点の全区設置〔106万円〕
- ・不登校等児童生徒支援センター（通称：Growth）の設置〔415万円〕
- ・放課後児童クラブの充実〔24億4,133万円〕

市役所DXの推進と公民学共創

多様化する市民ニーズや新しいライフスタイルに対応するため、本市のDXのコンセプトである「さいたまデジタル八策」に基づく各種取組によりデジタルファーストな行政運営への転換を図ります。また、多様化・複雑化する行政課題に柔軟に対応するため、公民学共創を推し進め、新たな時代にふさわしいさいたま市役所を創造します。

【主な事業内容等】

- ・キャッシュレス決済の対象拡大〔2億8,034万円〕
- ・Web口座振替受付サービスの導入〔1,563万円〕
- ・ノーコード・ローコード等の業務効率化に資するデジタル技術の導入・拡充〔2,029万円〕
- ・グリーンインフラの活用の推進〔658万円〕

01

コミュニティ・人
権・多文化

自治会運営補助金交付事業

予算額 2億8,518万円

住みよい豊かな地域社会の形成に資することを目的として、自治会及び自治会連合会の運営に要する経費の一部を補助するとともに、さいたま市自治会連合会のホームページ運営を支援します。

ICTを活用した自治会活動支援事業

予算額 108万円

ICTを活用した自治会活動を支援するため、自治会向けICT活用に関する講座及び自治会電子回覧板モデル事業を実施します。

02

環境

環境未来都市推進事業

予算額 1億553万円

次世代自動車普及施策を推進するとともに、本市の先進的な取組を国内外に発信するため、「E-KEI ZUNAグローバルサミット」を開催します。

ゼロカーボンシティ実現への共創推進

予算額 3,964万円

脱炭素社会の実現に向けて、エネルギー地産地消の推進体制構築や地域での再生可能エネルギー等の導入拡大に向けた先行モデル事業の調査等を実施します。

03

健康・
スポーツ

健康マイレージ

予算額 1億4,779万円

ICTを活用し、楽しみながら継続的な運動習慣の獲得を図るため、歩数等に応じてポイントを付与する健康マイレージを実施します。

「さいたまスポーツシューレ」活用推進事業

予算額 4,430万円

持続可能なスポーツ振興の実現に向けて、ネットワーク型の「さいたまスポーツシューレ」の活用や、スポーツシューレ推進施設の整備に向けた調査・検討を実施します。

04

教育

小学校35人学級教室整備事業

予算額 2億3,087万円

市立小学校の35人学級の実施等による学校の教室を確保するため、教室改修及び仮設校舎の設置とともに必要な物品を購入します。

不登校等児童生徒への支援の充実

予算額 415万円

「不登校等児童生徒支援センター（通称：Growth）」を設置し、ICTを活用した学習支援や訪問相談等を実施します。

05

生活
安全

防犯対策の推進

予算額 4,471万円

市民、事業者、警察等関係機関との連携の下、防犯や暴力排除の意識の向上を図り、地域の自主防犯活動の支援や暴力排除活動を推進します。

交通安全教室の実施

予算額 1,492万円

幼児・小学生・高齢者などを対象として、交通マナーや交通ルールを実践的に学ぶ教室を開催します。

06

福祉

福祉まるごと相談窓口の全区設置

予算額 1億302万円

各区に「福祉まるごと相談窓口」を設置し、生活困窮をはじめ、福祉の複合的な課題を抱えている方等の相談を包括的に受け止め、生活困窮者自立支援制度に基づく支援や必要な支援のコーディネートを実施します。

ケアラー・ヤングケアラー啓発事業

予算額 396万円

ケアラーに対する社会的認知度や理解の向上を図り、ケアラーを社会全体で支える機運を醸成するため、市民、事業者、関係機関等への周知啓発を実施します。

One point!

ここに掲載した事業は、市が行う事業のほんの一部です。主要な事業の概要などは、市

07

子ども・子育て

妊娠・出産包括支援事業

予算額 9,190万円

各区保健センターに設置した妊娠・出産包括支援センターを円滑に運営し、妊娠期からの切れ目ない支援を実施します。

子ども家庭総合支援拠点事業

予算額 106万円

身近な場所で、子育て全般に関する相談や児童等への必要な支援を実施する、子ども家庭総合支援拠点を10区に設置します。

08

文化

さいたま国際芸術祭開催準備事業及び国際芸術祭レガシー事業

予算額 4,895万円

さいたま国際芸術祭の開催（令和5年度予定）に向けて、広報戦略を含めた開催実施計画の策定経費を負担するとともに、国際芸術祭のレガシーとして、市民プロジェクト事業等を実施します。

アーツカウンシル運営事業

予算額 4,795万円

専門人材による調査研究、芸術活動支援及び文化発信プロジェクトなどの象徴的事業を実施するアーツカウンシルを創設し、文化芸術推進体制を強化します。

09

都市インフラ

大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進

予算額 2億7,359万円

大宮駅グランドセントラルステーション化構想及び大宮GCSプラン2020に基づき、大宮駅周辺街区のまちづくり、交通基盤整備及び駅機能の高度化の事業化に向けた検討を実施します。

大規模公園の整備推進

予算額 2億6,451万円

緑の核となり、地区内外から多くの人々が訪れる大規模公園（秋葉の森総合公園、見沼通船堀公園、さいたまセントラルパーク、与野中央公園）の整備を推進します。

10

防災・消防

準用河川・排水路等改修事業

予算額 12億4,551万円

浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図るため、準用河川・排水路等（新川、黒谷川外）の整備を推進します。

消防団の充実強化

予算額 2億6,754万円

地域防災の中核的存在である消防団の充実強化を図るため、消防団員確保の広報、消防団員の処遇改善、消防分団車庫及び各種装備等の整備を実施します。

11

経済・産業

中小企業の生産性・付加価値向上を通じた成長促進支援

予算額 3億819万円

市内中小企業の持続的な成長に向け、経営基盤強化と事業継続力向上の総合的な支援及びDX推進による生産性と付加価値向上を支援します。

企業立地の促進

予算額 2億8,364万円

本市の優位性を生かした企業誘致活動や官民連携による新たな産業集積拠点の創出に向けた権利者組織の支援及び関係機関協議等を実施します。

12

市民協働・公民連携、
高品質経営市役所

市税の納付機会の拡大

予算額 1億2,299万円

市税の納付機会の拡大や納期内納付の促進、更には市民サービスの向上を図るため、コンビニエンスストア、キャッシュレス決済等を利用した納付について実施するとともに、地方税共通納税システムなど、非接触型の納付方法を推進します。

Park-PFI等公民連携による公園の
にぎわい創出

予算額 453万円

公園のにぎわい創出、魅力の向上を図るため、公募設置管理制度（Park-PFI）やネーミングライツの活用など、公民連携事業を推進します。

ホームページの「市政情報→政策・財政→予算・決算」でご確認ください。

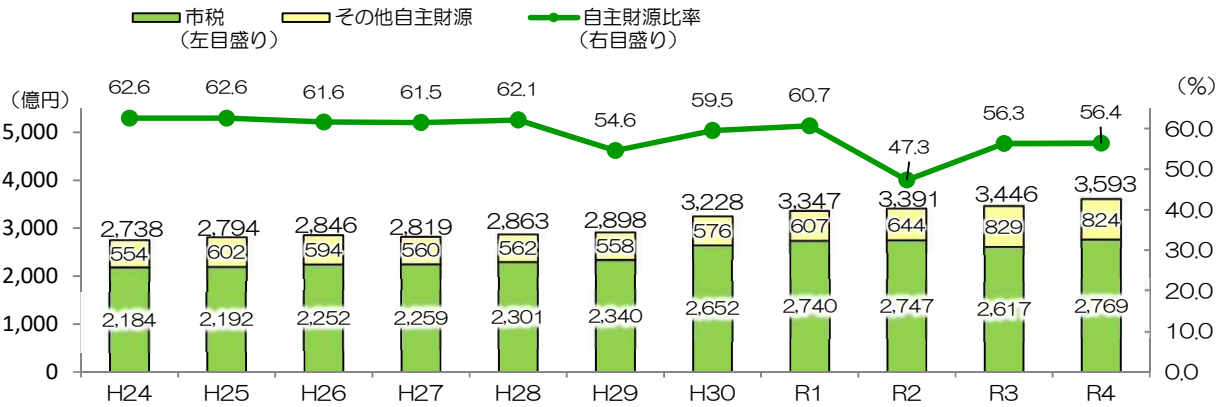
Q 歳入の状況は？

A 令和4年度は、人口増に伴う納税義務者数の増加等による市税の増収が見込まれるほか、新型コロナウイルスワクチン接種等に係る国庫支出金の増により、令和3年度に比べて増収を見込んでいます。



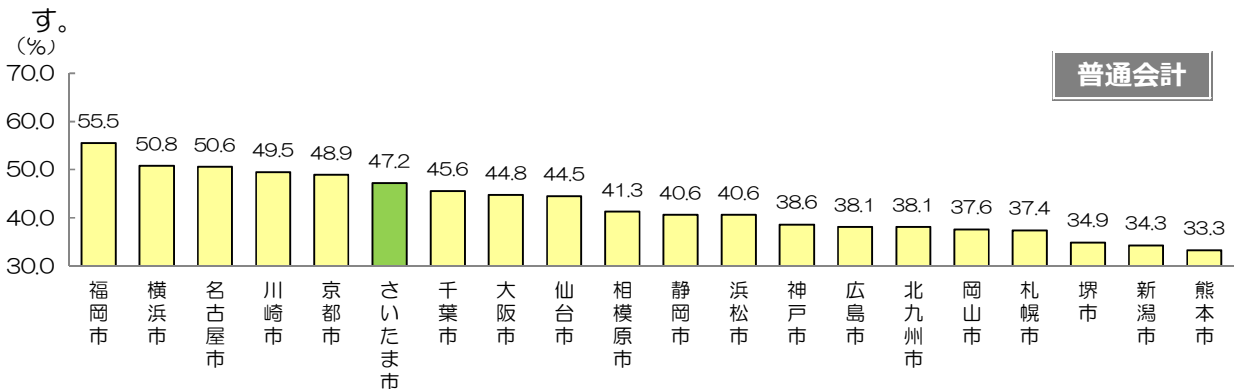
▼ 自主財源の推移（令和2年度以前は決算額、令和3年度以降は当初予算額）

さいたま市の一般会計の歳入における自主財源は年々増加しています。自主財源の割合（自主財源比率）は、令和2年度、特別定額給付金給付事業などの新型コロナウイルス感染症対策事業における国庫支出金の増加等により、一時的に減少しました。



▼ 政令指定都市の自主財源比率（歳入に占める自主財源の割合）の比較（令和2年度普通会計※決算） ※下の「One Point!」参照

さいたま市の自主財源比率は、政令指定都市の中でも比較的高い水準にあることがわかります。



One Point !

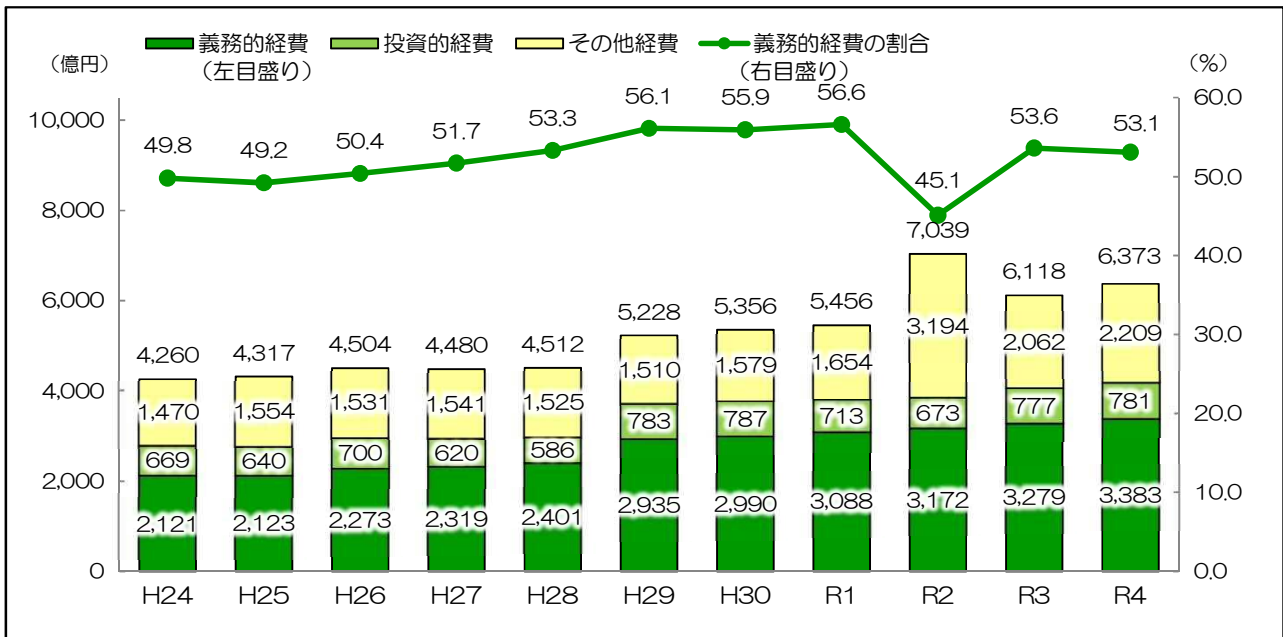
上のグラフで出てきた「普通会計」とは、地方公共団体ごとに異なる会計の範囲を一定の基準で区分し直した会計で、地方公共団体間の財政状況の比較などのために使われます。

Q 歳出の状況は？

A 歳出のうち、人件費・扶助費・公債費の3つを合わせた義務的経費が年々増加傾向にあります。特に、扶助費については、高齢化や待機児童対策のための保育施設の増設などの影響により大きく増えており、今後も増加傾向が続く見込みです。

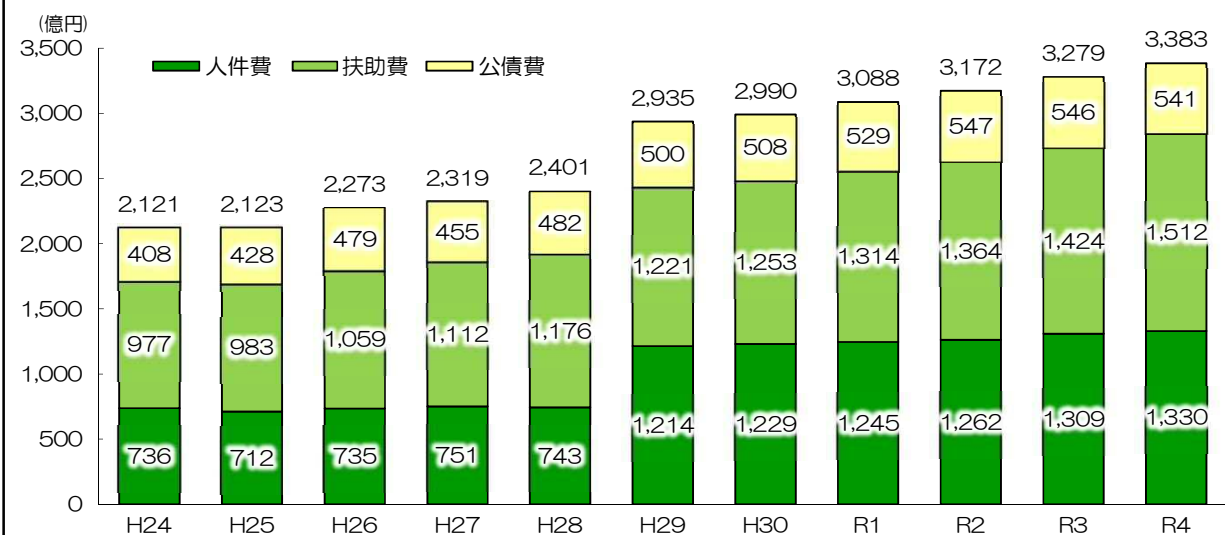


▼ 歳出（性質別）の推移（令和2年度以前は決算額、令和3年度以降は当初予算額）



▼ 義務的経費の推移（令和2年度以前は決算額、令和3年度以降は当初予算額）

県費負担教職員の給与負担等の移譲等に伴い、平成29年度に人件費が大幅に増加しました。
また、扶助費の増加傾向は、今後も続く見込みです。



Q

貯金はあるの？

A

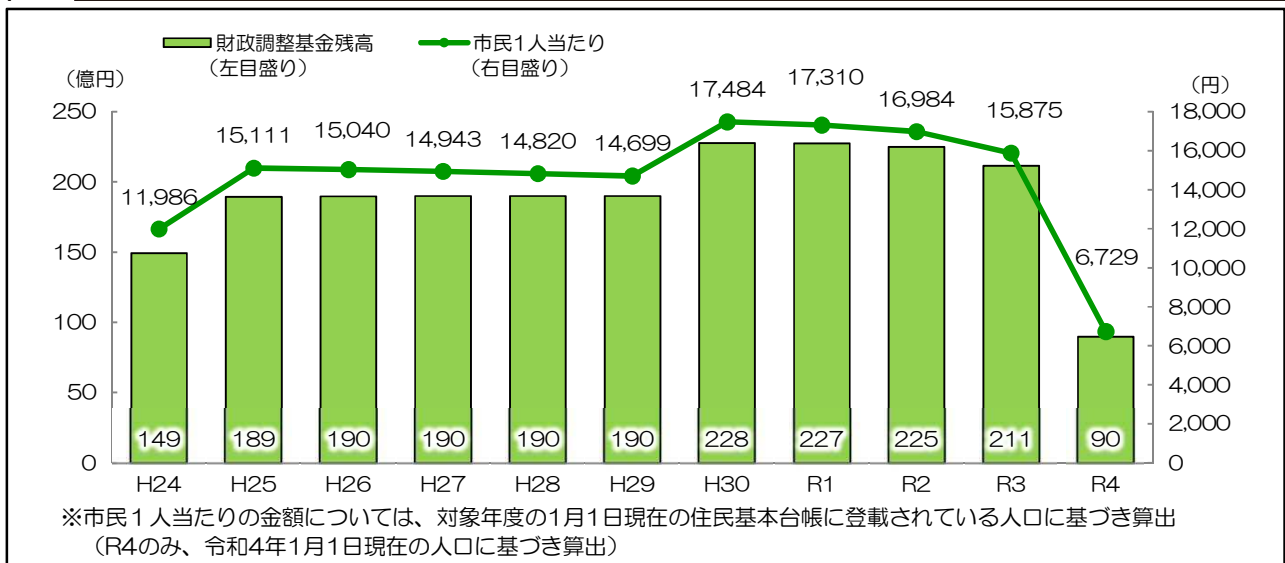
市の貯金を「財政調整基金」といい、令和5年3月31日時点の残高見込みは、約90億円です。

経済情勢の変動による財源不足や災害発生など緊急に支出が必要な場合に備え、財政調整基金を積み立てています。財源に余裕がある場合や決算剰余金が発生した場合に積み立て、必要に応じて取り崩すことにより、年度間の財源の不均衡を調整しています。



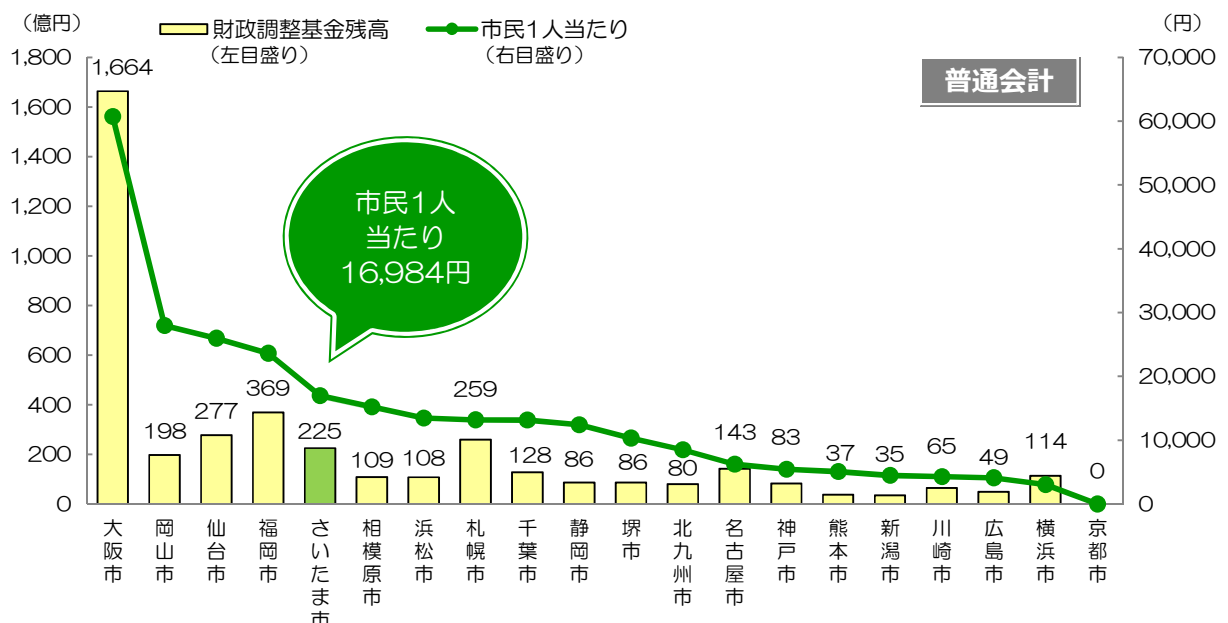
▼ 財政調整基金の年度末残高の推移

(令和2年度以前は決算額、令和3年度以降は見込み額)



▼ 政令指定都市の財政調整基金残高の比較 (令和2年度普通会計決算)

下のグラフから、市民1人当たりの残高でみると、政令指定都市の中ではおおむね平均的な水準にあることがわかります。



※市民1人当たりの金額については、対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づき算出

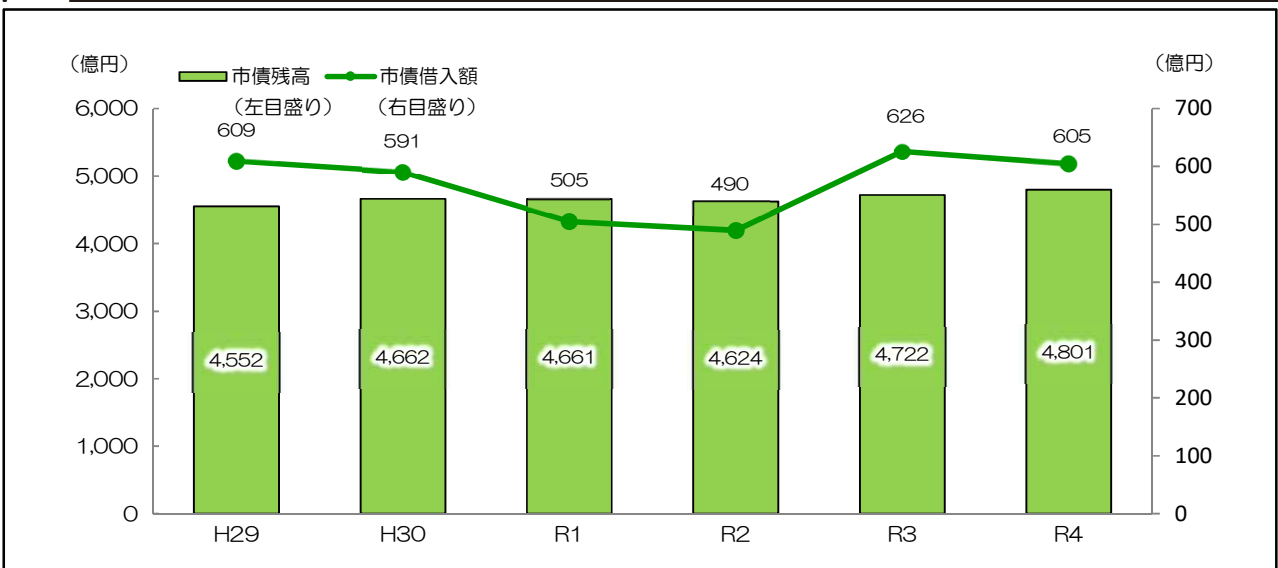
Q 借金はいくらあるの？

A 市の借金を「市債」といい、令和5年3月31日時点の残高見込みは、約4,801億円です。

今後も都市基盤や生活基盤の整備を進めていくことで、市債の残高が増えていく可能性があります。

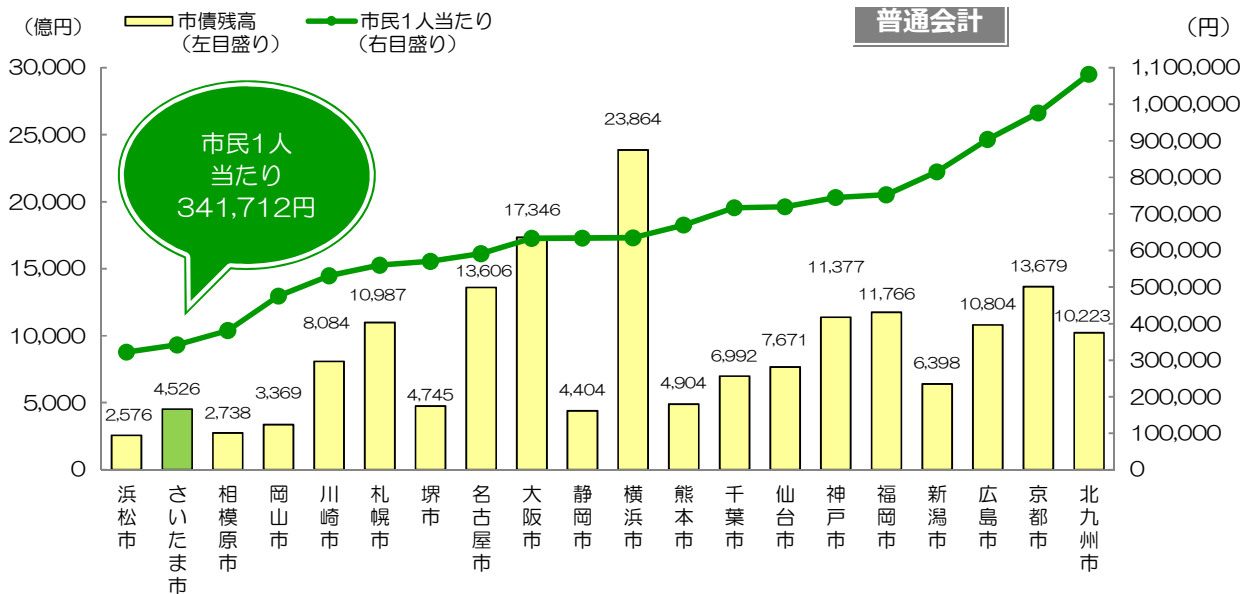


市債の残高及び借入額の推移
(令和2年以前は決算額、令和3年度以降は見込み額)



政令指定都市の市債残高の比較 (令和2年度普通会計決算)

下のグラフから、市民1人当たりの残高では、政令指定都市の中で2番目に少ないことがわかります。これは、市債残高の抑制を意識した財政運営を行ってきたことによるものです。



※市民1人当たりの金額については、対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づき算出

Q さいたま市のフコロ事情は安心？

A 令和2年度決算に基づいて算出した指標では、健全であるといえます。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、地方公共団体の財政状況を客観的な指標でチェックする基準が定められています。

さいたま市では、将来世代への責任を果たすため、健全な財政運営の維持を図る取組を実施しており、国が定めた財政健全化に関する基準を全てクリアしています。



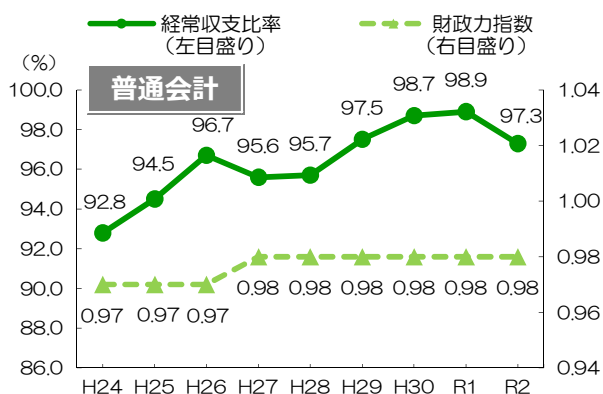
▼ 財政健全化指標（令和2年度決算）

指標	解説	さいたま市	早期健全化基準 ^{※1}	財政再生基準 ^{※2}
健全化判断比率	実質赤字比率 財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	(赤字なし)	11.25%	20%
	連結実質赤字比率 財政規模に対する全会計の赤字の割合	(赤字なし)	16.25%	30%
	実質公債費比率 財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額等の割合	5.8%	25%	35%
	将来負担比率 財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額等の割合	28.2%	400%	
	資金不足比率 公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合	-	20%	

※1 この基準以上となった場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定します。
 ※2 この基準以上となった場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定します。



▼ 経常収支比率と財政力指数の推移（令和2年度普通会計決算）



経常収支比率とは、市税などの継続的に見込める収入が毎年度生じる支出にどの程度使われているかを示す割合で、財政構造の弾力性を判断するための指標です。

財政力指数とは、標準的な行政活動を行うためのお金を自主財源でどの程度まかなえるかを示す割合で、財政力を示す指標です。

政令指定都市の中では、経常収支比率は9位、財政力指数は3位でした。



One Point !

さいたま市は、これまで積極的な歳出削減の取組や、安定した市税収入を確保するための取組などにより、健全な財政運営を行ってきました。

今後も安定的な財政を維持するために、より少ない予算でより大きな効果を上げられるように事業のやり方を見直す「行財政改革」にこれからも取り組んでいきます。

Q 令和4年度は、どんなコロナ対策事業を行うの？

A 令和3年度に引き続き市民の生命及び健康を守るため、ワクチン接種体制を確保し、迅速かつ確実に予防接種を進めるとともに、自宅療養者に対する医療提供体制を強化するなど、感染症対策を着実に実施します。

なお、下記の予算は、令和4年2月定例会における令和4年度当初予算の補正を踏まえた額であり、令和4年度中においても新型コロナウイルスの感染状況や国の動向を注視し、機動的かつ弾力的に対応していきます。

令和4年度予算額：約206億円（うち一般財源 約20億円）

1 感染症拡大防止と検査・医療提供体制の整備に係る予算 約199億円

（主な事業）

- ・ワクチン接種体制の整備及び追加接種の実施〔151.6億円〕
 - ・行政検査実施と保険適用された検査費用及び入院医療費の公費負担〔19.2億円〕
 - ・患者等の入院受け入れを行った医療機関への補助〔9.7億円〕
 - ・高齢者施設・障害者施設の新規入所者や従事者等へのPCR検査費用の補助〔4.9億円〕
 - ・自宅療養者の相談対応や食料品等の配送〔2.8億円〕
 - ・地域外来検査センターの運営〔1.6億円〕
 - ・感染者等の宿泊療養所、病院等へ移送〔1.2億円〕
 - ・妊婦に対するPCR検査と妊産婦の寄り添い支援〔0.6億円〕
- など

2 市民生活の支援と雇用維持・経済の回復支援に係る予算 約7億円

（主な事業）

- ・生活困窮者への自立支援金の支給〔4.1億円〕
 - ・住居確保給付金の支給〔1.3億円〕
 - ・商店街活性化推進補助など商店会への支援〔0.5億円〕
 - ・花火大会開催における感染症対策費用の補助〔0.3億円〕
 - ・地域の祭り開催における感染症対策費用の補助〔0.2億円〕
 - ・中小企業が取り組む生産性革命や販路開拓への支援〔0.2億円〕
- など

MEMO



もっと身近に、
もっとしあわせに

さいたま市民憲章が制定されました。

市誕生 20 周年を機に、市民の皆さんの郷土への思いや市民としての誇りなどが込められた「さいたま市民憲章」が制定されました。

憲章全文は、市ホームページでご覧になれます。下記のQRコード、または <https://www.city.saitama.jp/006/012/001/007/p082325.html> までアクセスください。



お知らせ . . .

- この冊子は市のホームページでご覧いただくことができます。
市ホームページ <https://www.city.saitama.jp/>
(トップページから、市政情報→政策・財政→財政状況にお進みください。)
- 市の予算・決算について詳しく知りたい方は、次の冊子もご覧ください。
「令和4年度 予算案の概要」
予算の概要や主な事業を掲載しています。
(トップページから、市政情報→政策・財政→予算・決算→予算にお進みください。)
「さいたま市の財政」
予算の執行状況や財産状況など、市の財政状況を掲載しています。
毎年6月と12月の年2回発行しています。
(トップページから、市政情報→政策・財政→財政状況にお進みください。)
- 宝くじは、埼玉県内の売場でお買い求めください。
埼玉県内で販売された宝くじの売上の一部は、さいたま市の収入になり、
子どもたちの健全な育成など、皆様の生活につながる事業の財源に充てられます。
宝くじは、埼玉県内の宝くじ売場でお買い求めください。

令和4年度 さいたま知っ得予算

令和4年4月

編集発行 さいたま市財政局財政部財政課

T E L 048-829-1154

F A X 048-829-1974

この冊子は200部作成し、1部当たりの印刷経費は72円(概算)です。